

集合住宅居住者の居留意識の分析

—金沢調査結果をふまえて—

加藤 義明*

要 約

過去何年間にわたって、われわれは、集合住宅居住者の居留意識の分析を試みてきた。なかでも住み心地を規定する要因について団地やその住民特性を分析することによって明らかにしようとしてきた。そして住み心地（満足度）の規定因が団地（集合住宅）ごとに異なっていることを明らかにしてきた。

今回の研究は、任意の団地を選択して調査し、従来の研究と比較することによって、より一般化された居留意識の法則をみつけようとした。

石川県金沢市郊外の緑団地とその周辺の一戸建を調査し、既に調査した3団地（名瀬市佐大熊団地、東京多摩ニュータウン、東京青山住宅）と比較を行なった。いくつかの団地特性において緑団地は佐大熊団地と類似していたが、居留意識に関しては、かなり異なっていた。団地特性（住民特性も含めて）の一つが異なっているにもかかわらず、居留意識は異なってくることも明らかになった。

今後の課題として、居留意識に直接影響を与える要因の抽出、団地特性の類型化などが急務であろう。

はじめに

われわれは、昭和51年より集合住宅居住者の居留意識について調査分析を行ってきた。その成果は、加藤・詫摩（1980）、詫摩・加藤・本間・松井（1980）、加藤・本間・松井（1981）、加藤（1981）、加藤・松井（1981）にまとめた。われわれの当初の目的は、公団・公社の建設したアパートや民間の建設会社のマンションなど広い意味で集合住宅に住む人の居留意識を調査し、一般化された集合住宅居住者の居留意識を分析することであった。しかし、実際に調査してみると、地域差や居住者の特性にあまりにも差があり過ぎて一般化、普遍化された結論をだすことが困難であった。そこで、われわれは調査地点を多くして各地に共通してみられる特性をだすこと、各地で一戸建住宅居住者と比較することによって前者の特徴を明らかにするという方法で分析を行ってきた。民間のマンションは、大都市に集中して存在し、地方都市にはあまり建設されていないという事情があるので、これを調査対象からはずし、もっぱら、公的機関（公社、公団、市営、県営）の建設したアパートに的を絞って調査を行なった。調査地点は、札幌市真駒内団地、千

葉県花見川団地、東京多摩ニュータウン団地、東京鶴川団地、東京青山住宅、鹿児島県名瀬市佐大熊団地などである。これらの団地住民とその付近の一戸建住宅居住者にアンケート用紙を配布して留置、郵送回収法で調査を行なった。結果の主なものは、次のとおりであった。

1. 現住宅に対する満足度は5段階評価でも、100点満点の評価でも居住形態、地区の差はあまりない。
2. しかし、団地がよいか一戸建がよいかをきくと団地住民でも約半数以上が、一戸建住民においては97%以上が一戸建がよいとしている。
3. 団地の住み心地をわるくしている要因としては、狭いこと、庭のないこと、生き物がかえないことが高い比率を占めている。一方、一戸建の住み心地をわるくしている要因としては、敷地が狭いこと、家のつくりが不便なこと、通勤・通学に時間がかかることが高い比率を占めている。
4. 現在の生活で一番困っていることは何かをきくと子供の教育、物価の高いこと、収入の低いことが上位をしめている。住宅問題が悩みというのは大都市居住者である。全体に団地、一戸建居住者とも自分達の生活の場をとりまく自然環境について

* 東京都立大学都市研究センター・人文学部

は、かなりよいという認識をもっており住めば都的なところがうかがえる。

5. 大都市居住者は地方居住者に比して冷たく、援助行動をしないとされるが、援助規範についてみるかぎり、両者の間に差はない。しかし、実際に行動として援助を行なうかときくと前者の比率は後者より低くなり、一般にいられていることと一致する。
6. 災害で一番恐ろしいと思われるものは地震と火事であるが、団地住民は一戸建住民より地震をこわがり、一戸建住民は団地住民より火事をこわがっている。(佐大熊地区の人は火事を恐れる比率が非常に高い。これは名瀬市大火を経験しているためであるかもしれない)
災害に対するそなえは具体的にはほとんど行なわれておらず、家族同志で話し合いが行なわれている程度である。また、全地域でもっと公共機関からのPRがほしいと望んでいることが明らかになった。
7. 教育やしつけについての関心は地域差、居住形態差はないが、子弟の教育については差がみられ、大都市居住者の方が、子弟に高い教育を受けさせようとしている。
8. 団地住民の不満の高い項目は、「庭のないこと」、「ベランダの狭いこと」「圧迫感のあること」などである。
9. 転居希望では、賃貸、分譲、一戸建住民の順に高率になっている(賃貸居住者の65%が転居希望)。
10. 都市居住における規範では、団地住民は、集合住宅にすべきが半数近いが、一戸建居住者では集合住宅にすべきとしたものは、わずかに16%であった。
11. 団地、および、一戸建に対するイメージでは、団地について団地住民は、「好き、きれい、広い、便利、温い、安全、快適」などほとんどの面でポジティブな評価をしており、一戸建に対しては、これと反対のイメージをもっている。
12. 居住満足度は、賃貸居住者は分譲居住者よりも有意に低く、特に「眺望」「日照」「近所づきあい」「プライバシー」など建物の構造と近隣関係の側面での差が著しい。
13. 団地居住の群の中では分譲高層群の満足度は高く、特に「広さ、間取り、眺望」の得点が高い。
14. 賃貸高層群は、満足度が低く、特に「家賃、外からの騒音、買物、文化施設、近所づきあい」が低い。
15. 集合住宅住民の総合的住み心地は、「防犯の安全性」「外からの騒音」「家賃・購入費」によって強

く規定され、一戸建は「駅からの距離」と「間取り」によって規定されている。

16. 5年以内に転居した人についてみると団地、一戸建共通して現在の住宅の方が以前の住宅より満足度が高い。
17. 各地域、および居住形態(団地か一戸建か)ごとに住み心地について因子分析すると共通因子と、固有因子がでてきたが、集合住宅全体、一戸建住宅全体で因子分析すると表1のような因子構造となった。

表一 住み心地の因子

集合住宅の住み心地因子		一戸建住宅の住み心地因子	
因子	因子名	因子	因子名
I	地域の便利さ	I	地域の便利さ
II	近隣との関係	II	建物の混み具合
III	住宅の使いやすさ	III	住宅の使いやすさ
IV	自然	IV	騒音
V	騒音		

18. 住み心地を規定している具体的内容(重回帰分析による)、つまり居住の満足度にかかわるものは、集合住宅では、間取り、自然、日照、近所づきあい、土地柄、防犯、プライバシーである。一方、一戸建では、上のうちの自然と日照がなくなって駅からの遠さということが入ってくる。これらの結果は、因子分析の結果とほぼ一致している。

以上は、今までに調査を行なった地域に共通して認められる特徴をとり出してみたのであるが、実際の団地、およびその住民の属性はかなりそれぞれに偏りがある。例えば、賃貸か分譲か、間取りが広いか狭いか、高層か中層か、建築後の年数、都心にあるか郊外か、更に居住者の年齢、収入、学歴、職業などの条件が団地ごとに異なっている。従ってこれらの変数を無視して結果を解釈することは出来ないのであるが、それにもかかわらず、上にまとめた事柄は、共通項として出てきたのである。

目的

集合住宅の居留意識に関する調査は、今回が最後となる。それで、現在までに明らかにされた上記のような諸傾向が、他の団地においても同じように認められるかどうかを吟味したい。すなわち、上記の一般的傾向が、団地、および団地住民の属性を頭においた上で、無作為に選ばれた地域の団地でも認められるかどうかを問題としたのである。これは今までの調査の結論の信頼性の検証とい

う意味をもつと同時に、団地、ならびに団地住民（一戸建住民も同じである）の特性が明らかにされれば、その団地の住み心地の規定因を推測できることになる。

今後、団地、ならびに団地住民の特性を類型化することができれば、その類型と居住意識（単に住み心地だけでなく、コミュニティの連帯意識や規範意識、さらに対人行動なども含めて）の関係を明らかにすることができよう。

今回の調査では、まだ特性の類型化まではしていないのであるが、任意にとりあげたある地域のある団地、および、その付近の一戸建住民の特性が、既にわれわれが行なった地域のどれと類似したものであるかを診断して、両者の居住意識を比較検討する。

もっとも、総ての特性において類似している団地はないわけで、ある特性については、類似、他の特性においては他の団地に類似しているということになる。

方法

今回の調査法は、アンケートの留置き、郵送法で、多摩ニュータウン、青山住宅、佐大熊団地で用いた方法と全く同じである（アンケート用紙は、例えば、加藤1981に収録してある）。

(1) 調査アンケートの内容

団地用調査アンケート用紙は居住意識に関する質問16項目、フェイス・シート9項目よりなっている。内容としては、現住宅と前住宅の総合的な住み心地の評定をはじめ、住み心地に関係あると思われる事柄についての満足度、団地、一戸建のイメージ、都市の住宅形態の規範（一戸建か集合住宅か）、地区活動（自治会、サークル、住民運動）への参加、交友関係、援助活動、性格特性（外向一内向）、生活全体への満足度などにかかわるもの、および現住宅と前住宅に関する広さ、持ち家・借家の別、入居年数、建設主体、団地生活の経験の有無、職業、収入、家族数などをきいたフェイス・シートからなっている。

一戸建用調査アンケート用紙は、団地用調査に対応して、これと同じ16項目、およびフェイス・シート9項目よりなっている。質問、およびフェイス・シートの内容はほぼ団地用と同じである。

(2) 調査対象

金沢市みどり1丁目、2丁目にある「緑団地」を調査対象とした。この団地の立地条件や生活環境はおよそ次のとおりである。

この団地は、金沢市の中心より約7kmのところであり、中層耐火4～5階建で2DKと3DKが中心の市営賃貸住宅である（図1参照）。団地内には、高層耐火住宅（7階

～11階）も含めると1402にのぼる戸数があるが、今回の調査は、前記の中層2DK～3DKの居住者（主婦）を対象とした。入居開始は昭和45年で家賃は7800～18000円である。なお、この団地は、金沢市にある17の市営団地の中では最大規模のものである。

(3) 調査数と回収方法

団地内の中層2DKと3DKの建物10を選んで調査員が各戸訪問して、調査の主旨を説明し、返送用の封筒とともにアンケート用紙を置いてきた。団地付近の一戸建住宅に対してもこれと同じ方法でアンケート用紙を配布した。配布数は、団地、一戸建ともに75部とした。

回収されてデータとして利用されたものは、団地40（53%）、一戸建58（77%）であった。この数は他の地域での調査と比較すると、一戸建はほぼ同率であるが（他地域での回収率71%～91%）、団地は明らかに低くなっている（同61%～83%）。

結果

(1) 住民の特性

当団地、ならびに団地付近の調査対象の特性は、アンケートのフェース・シート（付表1～18）からみたのであるが、結果の具体的な数値は、付表に収録してある。なお、他地域と比較するために、今回の調査結果は名瀬佐大熊、多摩ニュータウン、青山のデータと並べて記した。これらの表からみた、今回の対象者の特徴は次のとおりである。

A 緑団地

①住居の形態は2DK、3K、3DKの3種類

これは佐大熊団地（付表1では奄美と記されている）と類似している。

②居住棟の高さは総て中層である。

これも佐大熊団地と類似している。

③当団地に入居する以前の住宅は、アパート、親の家、借家の順に高率を占めている。

アパート、親の家が高率を示したのは他地域では見られない。

④団地居住の経験は12.5%で他地域の団地居住者の半数以下である。

⑤夫の勤務先は、70%が市内（金沢）。

これは他地域と類似している。

⑥妻が働らいていない比率は63%で、多摩ニュータウン、青山の数と類似している。佐大熊の27%は有意に低い。この数値は奄美では妻が紬生産に関係している場合が多いことによっている。

⑦夫の学歴は高卒50%、中卒25%。

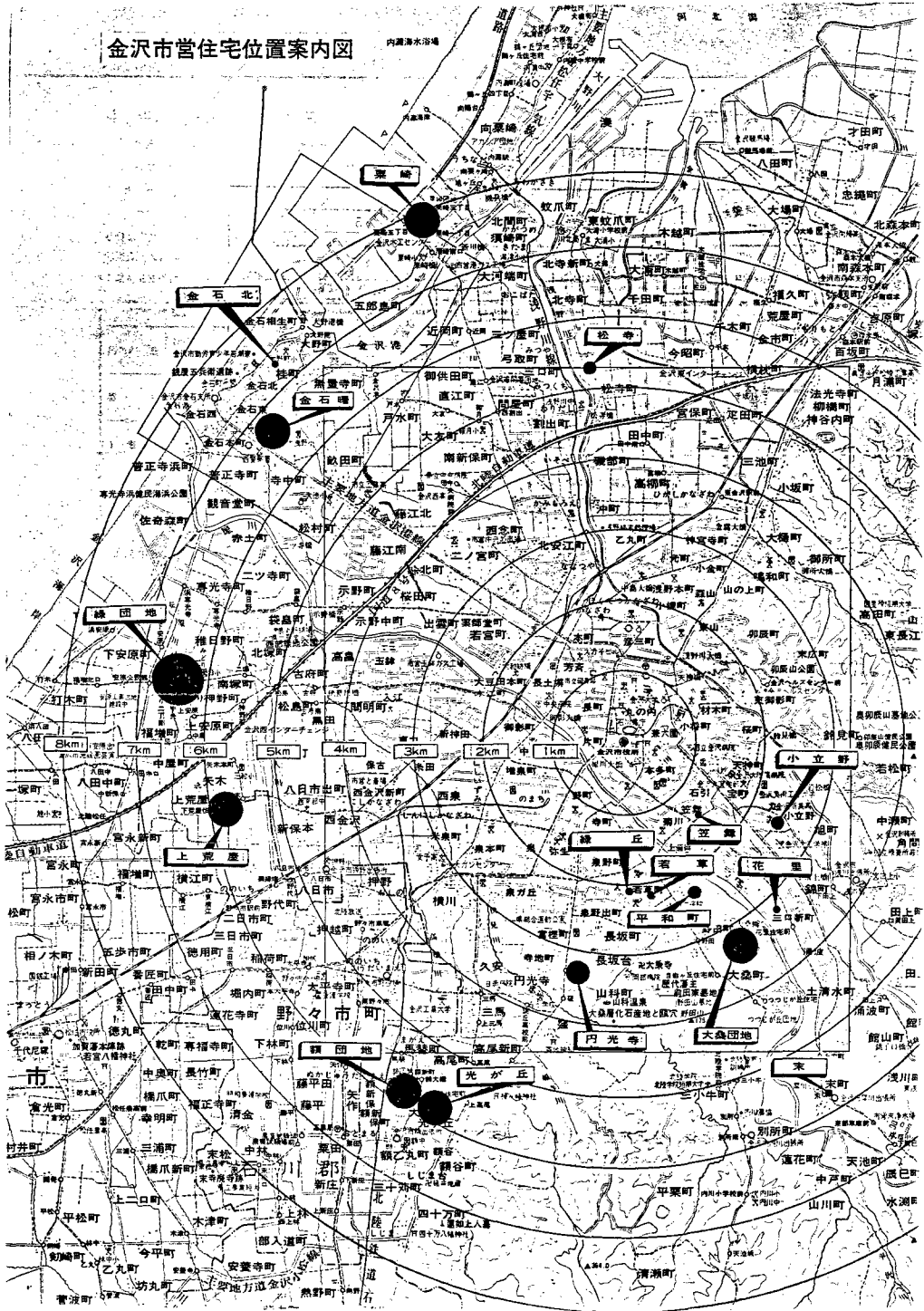


図-1 調査対象団地の位置

これは奄美の中卒、高卒の順で多いのと類似している。

⑧妻の学歴も高卒、中卒の順である。

⑨月収は、20万未満のもの50%、20～30万のもの45%で平均収入は20.8万円。

これは奄美のパターン、および平均収入(20.5万円)とほぼ同じである。

緑団地は市営、佐大熊団地は市営と県営で、入居条件に同じような収入制限があるために両者の平均収入が一致したのであろう。

⑩夫と妻の平均年齢は35才と33才

これは、われわれが行なった調査の中で一番若い年齢である。

⑪子どもの数は1.95人で奄美を除く他地域とほぼ一致している。奄美の3.25人が明らかに多いことがわかる。

緑団地の特徴と他地域の特徴を比較してみると、収入、夫婦の学歴、アパートの広さ、中層であることなどで奄美の佐大熊団地に類似している。

大都市周辺のベット・タウン(夫の勤務地の70%が市内)という観点からいうと多摩ニュータウンに類似している。

緑団地の特記すべき特徴を具体的にみると、居住者の年齢が若いこと、収入が少ないこと、学歴が高卒の多いこと、金沢のベット・タウンであること、比較的大規模団地であることなどである。

B 緑一戸建

①持家率91%で、ほとんどが2階建、5部屋か6部屋が大半を占める。

②建築後の年数は、5.64年で、多摩ニュータウンの年数と類似している。

これは団地が建てられた後、その周囲に業者が土地や家を売ってしまったためであろう。

③以前の住宅は、借家、公営住宅が多く、持家だった者の数が他地域に比較して非常に低い。

④以前に団地に居住した経験が36%あり、他地域の一戸建居住者に比較して非常に高率になっている。

⑤夫の勤務先は市内が70%。

⑥夫の職業で多いのは、管理職と事務であるが、比較的各業種に平均化して分散している。

⑦妻の就業率は約30%で奄美を除く他地域とほぼ一致している。

⑧夫の学歴は、高卒が60%近く、大卒と中卒が15%づつとなっている。

学歴の高さは、青山、多摩ニュータウン、金沢、奄美の順である。

⑨妻の学歴は、高卒が約70%で、全体的にみて、青山について高学歴となっている。

⑩月収は、30万～40万のものが最頻度を占めていて、平均月収が35.2万円ある。

次項でみるように、居住者の年齢が他地域より3才から12才も若いことを頭におけば、かなりの高収入といえよう。

⑪夫の平均年齢は40才、妻の平均年齢は38才である。他地域の一戸建居住者と比較すると夫で3才から12才、妻で4才から12才若い。

⑫子どもの数は2.04人で奄美を除く他地域とほぼ同じである。

緑地区の一戸建の特徴をまとめてみると、年齢は5才程若いのが、多摩ニュータウンの一戸建の特徴と一致するものが多い。これは両者とも団地の付近に建設されたものであることという立地条件からきたものと考えられる。

特記すべき特徴の内容をみると居住者の年齢が若いこと、収入が年齢のわりに高いこと、それでいて学歴があまり高くないことなどである。

以上に緑団地とその周辺の一戸建住民の特性をみてきたのであるが、多くの相違点もあるが、緑団地は奄美(名瀬市)の佐大熊団地と一番類似点が多く、周辺一戸建住民は多摩ニュータウンのそれと類似点が多いようである。今後の結果の考察は両者を比較しながら行なわれる。

(2) 入居理由

緑団地の居住者があげた入居理由は、付表19にあるように「家賃が手頃」というのが80%を占めている。この団地は奄美の佐大熊団地の特徴と類似していることを上に記したが、入居理由に関するかぎり、両者はかなり異なっている。緑団地の80%が家賃を理由にあげているのに、佐大熊では部屋の広さが第一位になっている(32%)。

両団地を比較すると、緑団地の居住者は、夫で6才、妻で5才年が若いのであるが、年が若くて収入が少ない(収入平均は両団地とも同じ)場合、家賃の安さはかなり魅力的なようである。入居者の年齢の違いという一特性は一見類似してみえる二団地の特徴をすでにかなり異なるものにしていくように思われる。

一方緑地域の一戸建は、上にも記したように多摩ニュータウンの特徴と類似点が多いのであるが、両者とも「広さ」を第一の理由にあげ、ついで「自然」となっており、それぞれの比率もほぼ一致している。団地と一戸建を比較すると、いずれの場合も一戸建住民の収入が高く、年齢も高い。この二つの条件が入居理由に影響していると考えられる。

(3) 現住宅と前住宅に対する満足度(住み心地)

緑団地、ならびにその周辺住民の現在、および以前の住いに対する満足度をみたのが付表20、21、22、23で、

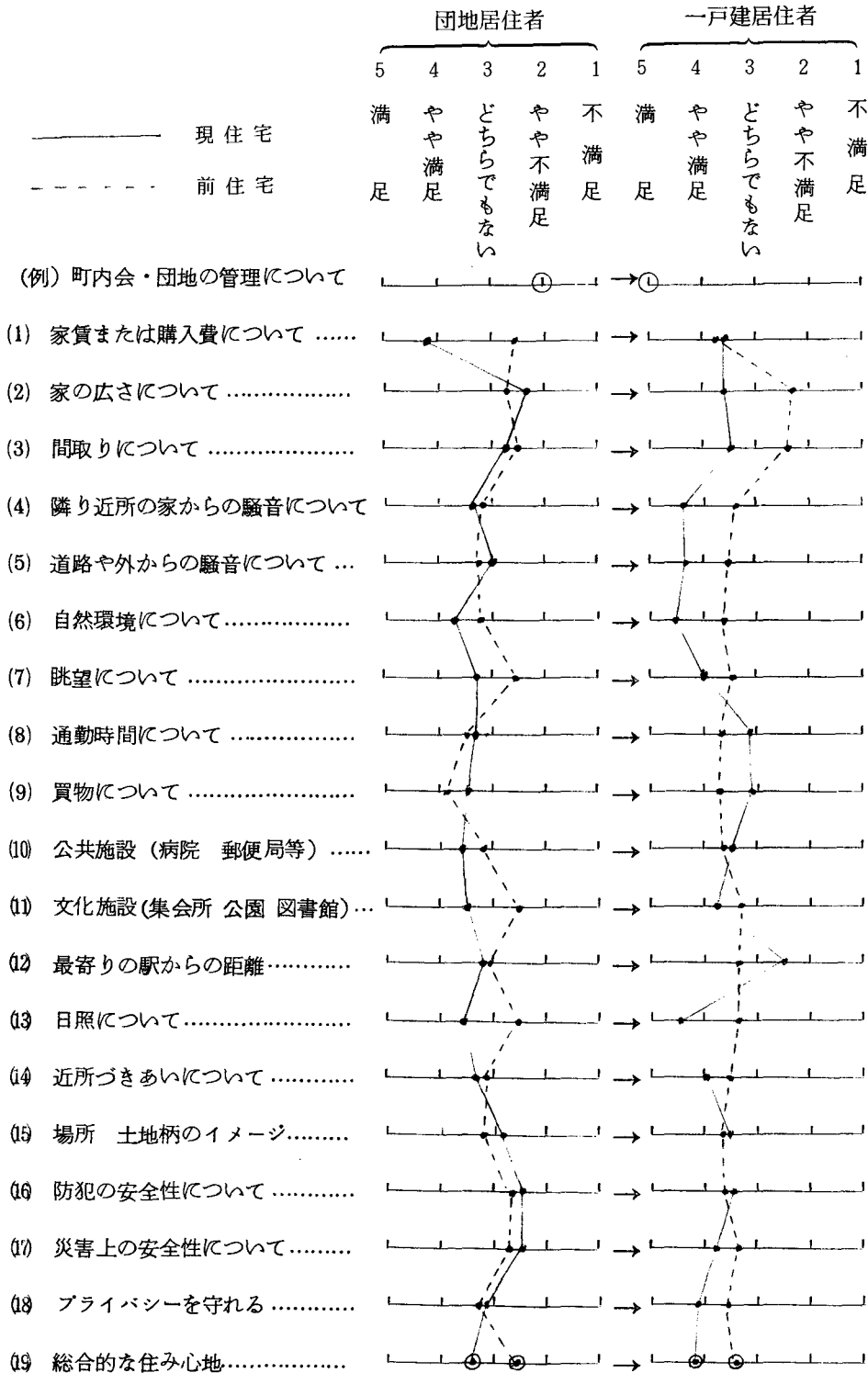


図-2 住宅に対する満足度

これを図にしたのが図2である。

付表20～23,および図2について考察しよう。はじめに総合的な住み心地であるが,団地,一戸建の両住民とも現住宅の住み心地の方が前住宅より住みよいとされていることがわかる。団地住民は,現と前の住宅を比較した場合,家賃,眺望,文化施設,日照の点で満足度が高い。以前の住宅の方が有意に高得点を示している項目はない。一戸建居住者の場合,家の広さ,間取り,騒音,環境,日照の点で現住宅の満足度が高いが,買物の便利さと駅からの距離では前住宅の方がよいとしている。前住宅の方が,この2点でよいのは,以前は市の中心部近くの借家やアパートにいたためと考えられる。

現住宅について団地と一戸建を比較すると家賃または購入費,駅からの距離で団地住民の満足度が高いが,家の広さ,間取り,騒音,眺望,日照,安全性については一戸建住民の満足度が高い。また総合的住み心地も一戸建居住者の方が高くなっている。

団地に関して奄美の佐大熊団地と比較してみると,金沢の方が有意に高い満足度を示す項目はなく,一方佐大熊では,買物,日照,近所づきあい,土地柄のイメージ,防犯,防災に関して金沢より高い満足度を示している。これらの点を反映してか,佐大熊の住み心地の総合得点も高くなっているし,次項で見るように転居希望も少ない。

一戸建に関して緑地域と多摩ニュータウンを比較してみると後者にあっては,3(どちらでもない)より±1以上のずれを示したのは「日照」だけであるが,金沢の方は,騒音,環境,眺望,日照,近所づきあい,プライバシーが守れるにおいて総てプラス方向のずれを示した。この点を反映してか,総合的住み心地の得点も金沢の方が高い。

(4) その他の居留意識について

A 転居希望

金沢の団地居住者の転居希望率は非常に高く,今のままがよいとした者は28%しかない。これを奄美の団地と比較すると(奄美の比率は66.3%)有意に低い。奄美と金沢が同パターンの団地とみなした筈であるのに,ここでは明らかな差が示された。奄美の場合,入居者の年齢が比較的高いこと,自宅が仕事場になっていること(軸生産)などから現状維持という気持ちで「今のまま」という者が少なくないのではないかと考えられる。奄美の転居希望者は特に少ないのであるが,他地域の団地居住者と比較しても,金沢の団地では転居希望が多い(73%)。

一方,一戸建居住者は,72%が定住希望で,これは多摩ニュータウンのそれ(71%)とほぼ同率である。

B 一戸建志向

やがて一戸建住宅を建てたいかをきいた結果が,付表

25である。団地居住者で建てたいとする者の比率は88%(ぜひとどちらかといえばの合計比率)で奄美の82%とほぼ同率である。

一戸建志向に関しては,他地域(多摩ニュータウンと青山)とは異なる傾向を示し,かつ同類型の奄美とほぼ一致したことになる。

C 都市住宅観

今までの研究では,どの地域にあってても団地居住者は,都市にあっては集合住宅にすべきだの比率が一戸建居住者を大きく上まわっていたのであるが,付表26によれば,金沢では団地と一戸建の居住者の比率がほとんど同率となっている(20.0%と20.7%)。金沢にあっては,一戸建と団地居住者の都市住宅のあるべき姿の意識が他の側面でもほぼ同傾向を示している。

金沢地域では,団地と一戸建居住者の都市住宅観が一致しているだけでなく,多摩ニュータウンの周辺の一戸建居住者のそれとも一致している。もともと多摩ニュータウン一戸建も金沢緑地域一戸建も郊外型の一戸建であるから「郊外に一戸建をたてるべき」の意見は多いのは納得できるが,金沢の団地居住者もこれと同傾向を示したことは,この地域住民の特異性といわねばならない。

D 住いに対する不満

緑団地の住民における住いに対する不満のベスト3は,ベランダの狭いこと,建物に欠陥があること,庭のないことである。住民特性が同じとみなされた奄美佐大熊の団地での不満ベスト3は,庭がないこと,ベランダが狭いこと,ペットが飼えないこととなっている。一つを除いて他の二つは一致している。

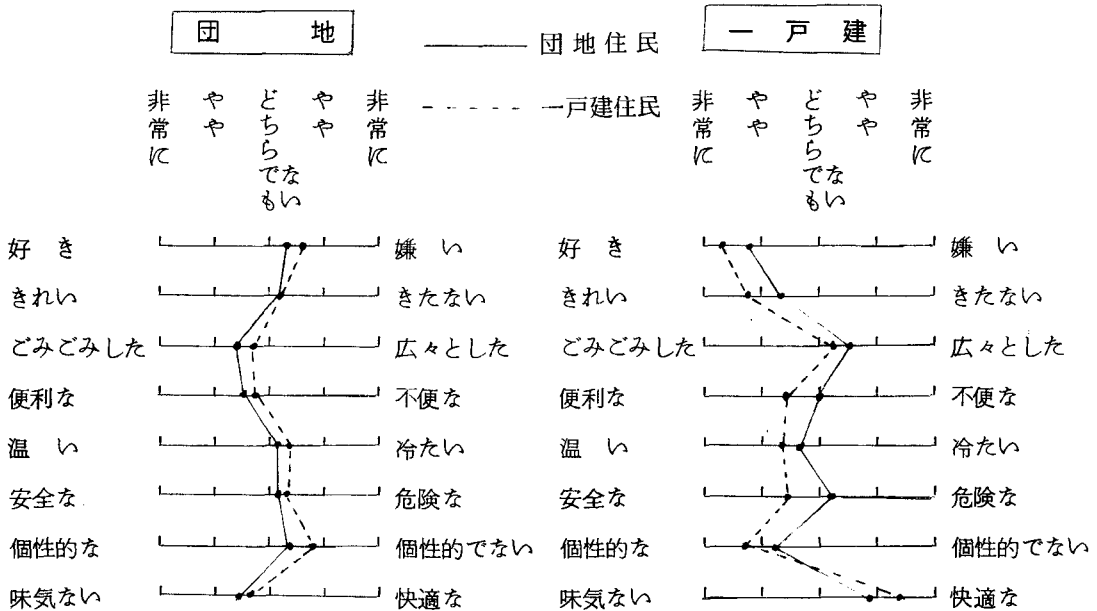
E 団地と一戸建に対するイメージ

団地住民,ならびに一戸建住民に対して「団地」,「一戸建」についてイメージをとったのが,付表28,29と図3である。これらによると団地よりも一戸建をポジティブに評価していることがわかる。この傾向は,団地住民,一戸建住民を問わず認められるが,一戸建住民において特に目立っている。団地住民は,団地を一戸建住民よりはわずかにポジティブに評価しているが,団地住民が一戸建を評価する程高くは評価していない。目下自分が住んでいる所(団地)より一戸建を高く評価するということは,転居希望や一戸建志向が高率であることと根を同じくしているものと考えられる。

一般に団地よりも一戸建に対してポジティブなイメージをいだくという傾向は,金沢地域だけでなく,他地域でも全く同様の結果が得られており,イメージのプロフィールも「団地」と「一戸建」ごとにほとんど同じ形をしている。

(5) 住民の日常生活,および生活意識

A 近隣社会における活動



図一三 金沢地域住民のイメージ

近隣社会における活動をみたのが付表30である。ここでは5種類の活動や関心をきいたのであるが、金沢の団地住民は、自治会加入こそ他地域と同じ率であるが、明らかに自治会活動に関心がないし、団地内の行事への参加も少ない。住民運動にも関心がないし、サークル活動への参加率も低い。特性からみて同じ類型かと思われた奄美の佐大熊団地での活動が常に活発であるのに対して金沢での活動がこれ程低いのはどうしてであろうか。奄美が離島であって施設や人間関係の上で娯楽やスポーツを個人的に楽しむことができないため近隣社会での活動が盛んに行なわれるのであろうか。また多摩ニュータウンや青山の団地でも近隣社会での活動があまり活発でなく、金沢と同じ様相を呈している。近隣社会における活動をみるかぎり、金沢の郊外団地は、ベットタウン型の多摩ニュータウン団地、ないしは都市団地型の青山住宅に類似している。

B 生活全般の満足度

生活全般の満足度についてみたのが付表31である。この表の平均欄をみると金沢地域の住民の満足度が一番低いことがわかる。奄美、ニュータウン、青山の一戸建の順に満足度は高く、ついで奄美、ニュータウン、青山の団地住民の満足度が高くなっている。金沢の団地にあっては特に満足度は他地域より低い。これが何によるもの

であるのかは不明であるが、この団地住民が他地域の住民より欲求不満の日々を送っているといつてよいであろう。

C 人間関係の規範意識

初めに近所づきあいについてみる。付表32にみるように金沢の一戸建住民は、他地域の一戸建住民とほぼ同じ規範をもっているが、団地住民は、「当然」の比率がどの地域の住民と比較しても非常に低い。数値の分布のしかたからいうと都心型の青山住宅のパターンと類似している。都心型の集合住宅（特に民間マンション）では近所とのつきあいがいいといわれるが、青山と金沢の団地がそのようなパターンを示している。

次に、人とは知り合いになるべきかについてきいた結果が付表33である。この表の平均欄をみると奄美の数値のみが5点を越えていて、他地域では5点に至っていない（得点が高い程人と知り合いになるべきだという規範をもつ）。奄美を地方型、他を都会型とするならば、人と知り合いになるべきかどうかということに関して、両者の間に明らかな差が示されている。これは、Milgram (1970)のいう都会における（過密社会における）非関与の規範によるものと解釈してもよいであろう。すなわち、都会のような刺激が多過ぎるところでは、それにいちいち反応していたのでは精神的ストレスが大きくなりすぎ

る。そこで個人は自己防衛のため自己をとりまく環境の刺激に反応しなくなる。他者に対しても同様に無関心、非関与の態度をはぐくむ。その結果、近所づきあいや知り合いになることに消極的になる。

金沢の団地住民は、以上のように対人関係からみればきり都会型といえる。

都会の住民は、非関与の規範を持っていて、その結果人づき合いをさける傾向のあることは上に述べたが、非関与の規範は、他人を助けるという行動も抑制するといわれている。これは一般に都会の人は冷たいということばで表現されている事柄である。

苦しんでいる人は助けるべきか、夜道に人がたおれていたらどうするかをきいた結果が付表34, 35である。付表35の横欄1, 2, 3, 4は個々の行動であるが、数値が多くなるに従って援助がなされなくなるものとして平均値を算出した。

付表34をみると、金沢地域の住民は、団地、一戸建をとわず苦しんでいる人でも助けるべきだとは考えないことが示されている。この考え方は奄美地域の住民とは有意の差を示している ($P < .01$)。

付表35の夜道の援助行動についても金沢住民は奄美より援助行動を行なおうとせず、都会型のパターンを示している。

以上に金沢地域の団地、および一戸建住民の居留意識、生活意識をみてきたのであるが、今回は、金沢地域の団

地の特異性が明らかにされた。一戸建住民については、多摩ニュータウンの一戸建住民(郊外型)や青山の一戸建住民(都心型)と類似した傾向を示したが、団地住民については、奄美の団地住民とはもとより、他の団地住民とも類似した傾向を認めることができなかった。例えば、アンケートの回収率をみても調査の方法は他地域と同じであったにもかかわらず、金沢の団地では53%と最低であった。

収入や入居条件ということから金沢の団地と奄美の団地は類似していたので、両者を比較することが多かったが、入居者の年齢、入居理由、立地条件など基本的なところで両団地は全く異なっていた。

年齢、入居理由については既に考察したので、立地条件について考えてみよう。同じような都市郊外とはいえず、金沢は40万人の都市、奄美佐大熊は名瀬市4万5千人の町の郊外である。金沢は東京や大阪からもそれ程遠くない所に位置するが、奄美は鹿児島から南へ400kmの海上に位置する離島である。

このように見てくると、団地のいくつかの特徴だけで類型化することが不可能であることがわかる。今後の研究方向の一つとして、団地なり、団地住民の特殊性の効果を評価する方法の開発が必要であろう。

(6) 総合的住み心地にかかわる要因

ここでは総合的住み心地にかかわる要因を18項目と総

表一2 総合的住み心地得点との相関

	団地 N = 40	一戸建 N = 52	全体 N = 92
(1) 家賃または購入費について……………	.277	.091	.088
(2) 家の広さについて……………	.242	.350*	.428**
(3) 間取りについて……………	.418**	.379*	.457**
(4) 隣り近所の家からの騒音について…	.347*	.247	.425**
(5) 道路や外からの騒音について……………	.362*	.406	.487**
(6) 自然環境について……………	.356*	.292	.434**
(7) 眺望について……………	.223	.496**	.425
(8) 通勤時間について……………	.021	.356*	.147
(9) 買物について……………	.122	.430**	.207
(10) 公共施設(病院・郵便局等)……………	.381*	.417**	.353*
(11) 文化施設(集会所・公園・図書館)	.218	.327*	.292
(12) 最寄りの駅からの距離……………	-.139	.073	-.081
(13) 日照について……………	.357*	.253	.420**
(14) 近所づきあいについて……………	.401*	.468**	.468**
(15) 場所・土地柄のイメージ……………	.574**	.503**	.573**
(16) 防犯の安全性について……………	.079	.433**	.311*
(17) 災害上の安全性について……………	.255	.354*	.441**
(18) プライバシーを守る……………	.556**	.393*	.543**

* $P < .05$

** $P < .01$

合的住み心地得点の相関をみることにする。

表2がその相関表であるが、18項目を説明変数と仮定して総合的住み心地を推測した場合、団地で9項目、一戸建てで13項目がかかわっていることが示されている。団地では、住み心地の規定因として、間取りのよさ、騒音、自然環境のよさ、公共施設の有無、日照、近所づきあい、土地柄イメージ（土地への愛着）、プライバシーが守れるかという9項目であり、一戸建てでは、家の広さ、間取りのよさ、騒音、眺望のよさ、通勤時間、買物の便利さ、公共施設の有無、文化施設の有無、近所づきあい、土地柄イメージ、防犯と災害の安全性、プライバシーが守れるかの13項目である。

住み心地と無関係であった項目は、住宅そのものにかかわるものでないもので、家賃、通勤時間、買物、文化施設、駅からの距離などである。

なお、重回帰分析を行なって住み心地総得点との関係を見ると団地では、土地柄イメージ（土地への愛着）の項目だけが有意であった。一戸建てでは、家の広さ、眺望、買物の便利さ、文化施設、日照、近所とのつきあい、土地柄イメージが関係しており、これは、表2の単純相関の内容ともある程度一致している。また、団地と一戸建て双方にかかわる項目は、重相関からみるかぎり、近所とのつきあいと土地柄イメージの2項目のみである。

文献一覽

- 加藤義明・詫摩武俊
1980 アパート団地（集合住宅）と一戸建て居住者の居留意識に関する予備的研究 総合都市研究 9号
- 加藤義明
1981 集合住宅居住者の心理特性—住み心地要因の分析— 総合都市研究 12号
- 加藤義明・本間道子・松井豊
1981 集合住宅住民の居留意識に関する研究—住み心地を構成している要因について— 人文学報 145号
- 加藤義明・松井豊
1981 集合住宅居住者の心理特性—居住環境と援助行動・援助の規範意識について— 総合都市研究 12号
- Milgram, S.
1970 "Responsibility, norms, and helping in an emergency" Journal of Personality & Social Psychology, 16, 299-310.
- 詫摩武俊・加藤義明・本間道子・松井豊
1980 集合住宅住民の心理特性に関する研究 I-IV 第44回日本心理学会発表

付表 (付表1～35) 金沢調査の結果一覧
(他地域と対比させて)

付表-1 各地域の団地の住居形態

	2DK	3K	3DK	3LDK	老人向	N.A.
奄美 (N=92)	(実数) 30 (%) 32.6	12 13.0	33 35.9	5 5.4	1 1.1	11 12.0
ニュータウン (N=224)	47 21.0	5 2.2	104 46.4	66 29.5	0 0.0	2 0.9
青山 (N=62)	54 87.1	1 1.6	1 1.6	0 0.0	0 0.0	6 9.7
金沢 (N=40)	14 35.0	11 27.5	14 35.0	0 0.0	0 0.0	1 2.5

付表-2 各地域の一戸建の部屋数

部屋数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	無回答
奄美 (N=106)	(実数) 1 (%) 0.9	13 12.3	14 13.2	15 14.2	24 22.6	9 8.5	7 6.6	2 1.9	0 0.0	21 19.8
ニュータウン (N=92)	0 0.0	2 2.2	5 5.4	39 42.4	14 15.2	13 14.1	5 5.4	1 1.1	0 0.0	13 14.1
青山 (N=66)	0 0.0	2 3.0	7 10.6	7 10.6	12 18.2	6 9.1	12 18.2	5 7.6	8 12.1	7 10.6
金沢 (N=58)	0 0.0	0 0.0	4 6.9	7 12.1	24 41.4	12 20.7	2 3.4	2 3.4	2 3.4	5 8.6

付表-3 各地域の一戸建の持家・借家の別

	持家	借家	無回答
奄美 (N=106)	(実数) 66 (%) 62.3	36 34.0	4 3.8
ニュータウン (N=92)	85 92.4	5 5.4	2 2.2
青山 (N=66)	59 89.4	6 9.1	1 1.5
金沢 (N=58)	53 91.4	4 6.9	1 1.7

付表-4 各地域の一戸建の平屋・2階建の別

	平屋	2階建	無回答
奄美 (N=106)	(実数) 30 (%) 28.3	69 65.1	1 0.6
ニュータウン (N=92)	17 18.5	74 80.4	1 1.1
青山 (N=66)	7 10.6	57 86.4	2 3.0
金沢 (N=58)	7 12.1	50 86.2	1 1.7

付表一五 各地域の団地の棟の高さ

	テラスハウス	中層	高層
奄美 (N=81)	1 1.2	76 93.8	4 4.9
ニュータウン (N=224)	0 0.0	119 53.1	105 46.9
青山 (N=59)	0 0.0	4 6.8	55 93.2
金沢 (N=37)	0 0.0	37 100.0	0 0.0

註) 奄美のテラスハウスと高層, 青山の中層は自分の住んでいる部屋の高さと誤まって記入したものと考えられる。

付表一六 各地域の団地の住民が住んでいる階

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	N	A	平均
奄美 (N=92)	12 13.0	19 20.7	22 23.9	15 16.3	18 19.6	1 1.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 5.4		2.96 (1.51)
ニュータウン (N=216)	30 13.9	33 15.3	30 13.9	28 13.0	34 15.7	12 5.6	12 5.6	10 4.6	9 4.2	7 3.2	9 4.2	2 0.9		4.42 (2.81)
青山 (N=56)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	8 14.3	5 8.9	6 10.7	4 7.1	10 17.9	10 17.9	5 8.9	8 14.3	0 0.0		7.66 (2.32)
金沢 (N=39)	8 20.0	9 22.5	11 27.5	8 20.0	2 5.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.5		2.66 (1.18)

()はSD

付表一七 各地域の一戸建建築後の年数

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	14	15
奄美 (N=94)	9 9.6	6 6.4	9 9.6	5 5.3	4 4.3	10 10.6	9 9.6	5 5.3	4 4.3	10 10.6	1 1.1	1 1.1		3 3.2
ニュータウン (N=88)	7 8.0	13 14.8	19 21.6	5 5.7	15 17.0	8 9.1	5 5.7	1 1.1	5 5.7	7 8.0	1 1.1	1 1.1		1 1.1
青山 (N=63)	4 6.3	2 3.2	6 9.5	2 3.2	1 1.6	2 3.2		3 4.8		6 9.5		2 3.2	1 1.6	2 3.2
金沢 (N=56)	1 1.8		5 8.9	3 5.4	18 32.1	14 25.0	7 12.5	7 12.5	1 1.8					

付表-8 前の住宅

		親の家	間借り	持家	借家	アパート	公営住宅	公団住宅	社宅	その他	無回答
奄美	団地 (N=92)	7 7.6	6 6.5	6 6.5	25 27.2	13 14.1	16 17.4	1 1.1	8 8.7	3 3.3	7 7.6
	一戸建 (N=106)	8 7.5	1 0.9	32 30.2	27 25.5	9 8.5	11 10.4	0 0.0	1 0.9	3 2.8	14 13.2
ニュータウン	団地 (N=224)	22 9.8	4 1.8	5 2.2	36 16.1	60 26.8	6 2.7	57 25.4	23 10.3	5 2.2	6 2.7
	一戸建 (N=92)	4 4.3	2 2.2	34 37.0	13 14.1	10 10.9	3 3.3	11 12.0	6 6.5	3 3.3	6 6.5
青山	団地 (N=62)	12 19.4	5 8.1	6 9.7	8 12.9	19 30.6	1 1.6	6 9.7	0 0.0	1 1.6	4 6.5
	一戸建 (N=66)	11 16.7	3 4.5	27 40.9	4 6.1	4 6.1	1 1.5	0 0.0	7 10.6	3 4.5	6 9.1
金沢	団地 (N=40)	10 25.0	2 5.0	0 0.0	8 20.0	14 35.0	1 2.5	0 0.0	2 5.0	0 0.0	3 7.5
	一戸建 (N=58)	6 10.3	2 3.4	8 13.8	15 25.8	5 8.6	11 19.0	2 3.4	6 10.3	0 0.0	3 5.2

16	17	18	20	22	25	27	29	30	32	40	42	平均
		2 2.1	7 7.4		2 2.1			5 5.3		1 1.1	1 1.1	9.71 〔8.90〕
												4.88 〔3.01〕
2 3.2	3 4.8	1 1.6	6 9.5	1 1.6	4 6.3	1 1.6	2 3.2	11 17.5	1 1.6			15.76 〔10.39〕
												5.64 〔1.56〕

〔 〕はSD

付表一 9 以前の団地居住の経験の有無

		あ	る	な	い	NA
奄 美	団 地 (N = 92)	35 38.0	55 59.8	2 2.2		
	一 戸 建 (N = 106)	15 14.2	89 84.0	2 1.9		
ニ ュ ー タ ウ ン	団 地 (N = 224)	89 39.7	132 58.9	3 1.3		
	一 戸 建 (N = 92)	23 25.0	68 73.9	1 1.1		
青 山	団 地 (N = 62)	15 24.2	45 72.6	2 3.2		
	一 戸 建 (N = 66)	8 12.1	56 84.8	2 3.0		
金 沢	団 地 (N = 40)	5 12.5	34 85.0	1 2.5		
	一 戸 建 (N = 58)	21 36.3	35 60.3	2 3.4		

付表一 10 夫 の 勤 務 先

		自 宅	町 内	市 内	市 外			NA	
奄 美	団 地 (N = 92)	5 5.4	2 2.2	74 80.4	6 6.5	/		5 5.4	
	一 戸 建 (N = 106)	23 21.7	5 4.7	66 62.3	7 6.6			5 4.7	
		ニ ュ ー タ ウ ン 内	多 摩 地 区	府 中 地 区	そ の 他 多 摩	東 京 区 部	そ の 他	NA	
ニ ュ ー タ ウ ン	団 地 (N = 224)	5 2.2	16 7.1	29 12.9	11 4.9	143 63.8	16 7.1	4 1.8	
	一 戸 建 (N = 92)	8 8.7	20 21.7	13 14.1	1 1.1	36 39.1	8 8.7	6 6.5	
		自 宅	団 地 内	都 区 内	都 内 都 外			NA	
青 山	団 地 (N = 62)	6 9.7	2 3.2	21 33.9	23 37.1	3 4.8	/		7 11.3
	一 戸 建 (N = 66)	7 10.6	2 3.0	49 74.2	3 4.5	0 0.0			5 7.6
		自 宅	団 地 内	市 内	市 外			NA	
金 沢	団 地 (N = 40)	2 5.0	1 2.5	30 75.0	5 12.5	/		2 5.0	
	一 戸 建 (N = 58)	5 8.6	3 5.2	41 70.7	3 5.2			6 10.3	

付表-11 夫の仕事

		事務系	技能系	技術系	専門職	管理職	自営業	その他	無回答
奄美	団地 (N = 92)	12 13.0	14 15.2	18 19.6	11 12.0	2 2.2	15 16.3	12 13.0	8 8.7
	一戸建 (N = 106)	10 9.4	10 9.4	7 6.6	20 18.9	8 7.5	41 38.7	6 5.7	4 3.8
ニュータウン	団地 (N = 224)	57 25.4	12 5.4	49 21.9	27 12.1	48 21.4	16 7.1	11 4.9	4 1.8
	一戸建 (N = 92)	14 15.2	11 12.0	12 13.0	6 6.5	15 16.3	17 18.5	13 14.1	4 4.3
青山	団地 (N = 62)	11 17.7	2 3.2	4 6.5	8 12.9	18 29.0	12 19.4	4 6.5	3 4.8
	一戸建 (N = 66)	11 16.7	2 3.0	6 9.1	9 13.6	27 40.9	8 12.1	0 0.0	3 4.5
金沢	団地 (N = 40)	11 27.5	6 15.0	7 17.5	7 17.5	0 0.0	3 7.5	4 10.0	2 5.0
	一戸建 (N = 58)	11 19.0	3 5.2	9 15.5	8 13.8	13 22.4	9 15.5	3 5.2	2 3.4

付表-12 妻の仕事

		無し	定職	パート	無回答
奄美	団地 (N = 92)	25 27.2	55 59.8	10 10.9	2 2.2
	一戸建 (N = 106)	27 25.5	64 60.4	12 11.3	3 2.8
ニュータウン	団地 (N = 224)	138 61.8	57 25.4	28 12.5	1 0.4
	一戸建 (N = 92)	59 64.1	23 25.0	9 9.8	1 1.1
青山	団地 (N = 62)	31 50.0	22 35.5	6 9.7	3 4.8
	一戸建 (N = 66)	49 74.2	13 19.7	3 4.5	1 1.5
金沢	団地 (N = 40)	25 62.5	6 15.0	8 20.0	1 2.5
	一戸建 (N = 58)	39 67.3	10 17.2	7 12.1	2 3.4

付表-13 夫の学歴

		小 卒	中 卒	高 卒	短大卒	大 卒	無回答
奄 美	団 地 (N = 92)	0 0.0	43 46.7	31 33.7	5 5.4	8 8.7	5 5.4
	一 戸 建 (N = 106)	3 2.8	46 43.4	38 35.8	2 1.9	14 13.2	3 2.8
ニュータウン	団 地 (N = 224)	1 0.4	11 4.9	70 31.3	21 9.4	116 51.8	5 2.2
	一 戸 建 (N = 92)	11 12.0	14 15.2	22 23.9	7 7.6	33 35.9	5 5.4
青 山	団 地 (N = 62)	2 3.2	1 1.6	13 21.0	8 12.9	30 48.4	8 12.9
	一 戸 建 (N = 66)	1 1.5	3 4.5	9 13.6	4 6.1	47 71.2	2 3.0
金 沢	団 地 (N = 40)	1 2.5	10 25.0	20 50.0	2 5.0	6 15.0	1 2.5
	一 戸 建 (N = 58)	1 1.7	9 15.5	34 58.6	4 6.9	9 15.5	1 1.7

付表-14 妻の学歴

		小 卒	中 卒	高 卒	短大卒	大 卒	無回答
奄 美	団 地 (N = 92)	1 1.1	47 51.1	28 30.4	7 7.6	0 0.0	9 9.8
	一 戸 建 (N = 106)	4 3.8	41 38.7	51 48.1	6 5.7	1 0.9	3 2.8
ニュータウン	団 地 (N = 224)	1 0.4	22 9.8	123 54.9	41 18.3	35 15.6	2 0.9
	一 戸 建 (N = 92)	6 6.5	21 22.8	48 52.2	9 9.8	6 6.5	2 2.2
青 山	団 地 (N = 62)	0 0.0	4 6.5	31 50.0	14 22.6	10 16.1	3 4.8
	一 戸 建 (N = 66)	0 0.0	2 3.0	25 37.9	24 36.4	14 21.2	1 1.5
金 沢	団 地 (N = 40)	2 5.0	8 20.0	26 65.0	2 5.0	1 2.5	1 2.5
	一 戸 建 (N = 58)	1 1.7	7 12.1	40 69.0	7 12.1	2 3.4	1 1.7

付表-15 月 収

		20万未満	20万～30万	30万～40万	40万～50万	50万以上	無回答	平均
奄 美	団 地 (N = 92)	49 53.3	20 21.7	9 9.8	2 2.2	0 0.0	12 13.0	20.5万円 〔 7.94 〕
	一 戸 建 (N = 106)	28 26.4	29 27.4	19 17.9	14 13.2	10 9.4	6 5.7	30.4万円 〔 14.1 〕
ニュータウン	団 地 (N = 224)	13 5.8	79 35.3	64 28.6	41 18.3	21 9.4	6 2.7	33.2万円 〔 12.7 〕
	一 戸 建 (N = 92)	9 9.8	23 25.0	20 21.7	22 23.9	17 18.5	1 1.1	37.6万円 〔 14.2 〕
青 山	団 地 (N = 62)	4 6.5	13 21.0	16 25.8	9 14.5	16 25.8	4 6.5	39.8万円 〔 14.8 〕
	一 戸 建 (N = 66)	2 3.0	3 4.5	11 16.7	13 19.7	33 50.0	4 6.0	49.3万円 〔 13.1 〕
金 沢	団 地 (N = 40)	20 50.0	18 45.0	1 2.5	1 2.5	0 0.0	0 0.0	20.8万円 〔 6.7 〕
	一 戸 建 (N = 58)	5 8.6	14 24.1	18 31.0	13 22.4	6 10.3	2 3.4	35.2万円 〔 11.3 〕

〔 〕はSD

付表-16 夫と妻と第一子の年令 (平均)

		夫の年令	妻の年令	第一子の年令
奄 美	団 地	N = 78 41.54才 〔 5.68 〕	N = 85 37.62才 〔 5.26 〕	N = 85 13.26才 〔 4.36 〕
	一 戸 建	N = 100 43.71才 〔 5.97 〕	N = 104 40.74才 〔 5.75 〕	N = 104 15.14才 〔 4.96 〕
ニュータウン	団 地	N = 217 39.73才 〔 8.36 〕	N = 220 36.50才 〔 8.03 〕	N = 191 10.47才 〔 8.19 〕
	一 戸 建	N = 90 45.04才 〔 10.54 〕	N = 91 41.08才 〔 10.29 〕	N = 81 14.52才 〔 9.89 〕
青 山	団 地	N = 56 48.68才 〔 10.22 〕	N = 59 45.27才 〔 10.02 〕	N = 49 19.65才 〔 9.85 〕
	一 戸 建	N = 59 52.22才 〔 11.14 〕	N = 65 49.72才 〔 11.71 〕	N = 60 23.37才 〔 12.73 〕
金 沢	団 地	N = 40 35.43才 〔 10.61 〕	N = 40 33.00才 〔 9.32 〕	N = 36 7.14才 〔 7.62 〕
	一 戸 建	N = 56 40.09才 〔 9.17 〕	N = 57 37.79才 〔 9.14 〕	N = 55 12.13才 〔 8.99 〕

〔 〕はSD

付表-17 大人の人数

		0	1	2	3	4	5	7	11	平均
奄 美	団 地 (N = 73)		8 11.0	59 80.8	2 2.7	2 2.7	1 1.4		1 1.4	2.14 〔1.22〕
	一 戸 建 (N = 92)		5 5.4	66 71.7	11 12.0	6 6.5	4 4.3			2.33 〔0.85〕
ニュータウン	団 地 (N = 185)	1 0.5	3 1.6	155 83.8	21 11.4	4 2.2	1 0.5			2.15 〔0.52〕
	一 戸 建 (N = 79)		6 7.6	48 60.8	11 13.9	10 12.7	4 5.1			2.47 〔0.99〕
青 山	団 地 (N = 52)		4 7.7	40 76.9	4 7.7	4 7.7				2.15 〔0.67〕
	一 戸 建 (N = 54)		3 5.6	18 33.3	14 25.9	17 31.5	1 1.9	1 1.9		2.98 〔1.12〕
金 沢	団 地 (N = 37)		1 2.7	35 94.6	1 2.7					2.00 〔0.23〕
	一 戸 建 (N = 54)			39 72.2	10 18.5	4 7.4	1 1.9			2.39 〔0.74〕

〔 〕はSD

付表-18 子どもの人数

		0	1	2	3	4	5	6	7以上	
奄 美	団 地 (N = 87)	0 0.0	2 2.3	24 27.6	31 35.6	17 19.5	9 10.3	1 1.1	3 3.4	3.25 〔1.26〕
	一 戸 建 (N = 105)	0 0.0	0 0.0	29 27.6	40 38.1	24 22.9	7 6.7	4 3.8	1 1.0	3.24 〔1.11〕
ニュータウン	団 地 (N = 209)	16 7.7	72 34.4	101 48.3	14 6.7	5 2.1	1 0.5	0 0.0	0 0.0	1.63 〔0.85〕
	一 戸 建 (N = 86)	6 7.0	12 14.0	47 54.7	13 15.1	3 3.5	5 5.8	0 0.0	0 0.0	2.12 〔1.11〕
青 山	団 地 (N = 53)	5 9.4	8 15.1	29 54.7	7 13.2	3 5.7	1 1.9	0 0.0	0 0.0	1.96 〔1.04〕
	一 戸 建 (N = 63)	2 3.2	15 23.8	29 46.0	13 20.6	2 3.2	1 1.6	1 1.6	0 0.0	2.08 〔1.05〕
金 沢	団 地 (N = 38)	2 5.3	11 28.9	17 44.7	7 18.4				1 2.6	1.95 〔1.28〕
	一 戸 建 (N = 57)	2 3.5	11 19.3	29 50.9	14 24.6		1 1.8			2.04 〔0.86〕

〔 〕はSD

付表-19 入 居 理 由

		1.広 さ	2.家 賃	3.通 勤	4.会社 の あ っ せ ん	5.環 境	6.自 然	7.な じ み	8.なん と く な	9.親の家	無回答
奄 美	団 地 (N = 92)	29 31.5	22 23.9	7 7.6	11 12.0	2 2.2	3 3.3	2 2.2	4 4.3	0 0.0	12 13.0
	一戸建 (N = 106)	29 27.4	3 2.8	7 6.6	7 6.6	3 2.8	10 9.4	7 6.6	4 3.8	16 15.1	20 18.9
ニ タ ユ ウ ン	団 地 (N=224)	102 45.5	6 2.7	22 9.8	4 1.8	10 4.5	25 11.2	3 1.3	14 6.3	24 10.7	14 6.3
	一戸建 (N = 92)	29 31.5	0 0.0	1 1.1	4 4.3	1 1.1	16 17.4	9 9.8	9 9.8	0 0.0	23 25.0
青 山	団 地 (N=62)	16 25.8	3 4.8	22 35.5	2 3.2	1 1.6	0 0.0	6 9.7	2 3.2	5 8.1	5 8.1
	一戸建 (N=66)	18 27.3	0 0.0	3 4.5	2 3.0	7 10.6	2 3.0	9 13.6	1 1.5	18 27.3	6 9.1
金 沢	団 地 (N=40)	4 10.0	32 80.0	2 5.0			1 2.5				1 2.5
	一戸建 (N = 58)	28 48.3			4 6.9	5 8.6	9 15.5	3 5.2	3 5.2	3 5.2	3 5.2

付表-20 団地居住者の現在の住宅に対する満足度

	1 家賃	2 広さ	3 間取り	4 隣の騒音	5 外の騒音	6 環境	7 眺望	8 通勤時間	9 買物	10 公共施設
奄美	N = 84 3.95 (1.21)	N = 88 2.55 (1.30)	N = 87 2.71 (1.35)	N = 88 3.28 (1.27)	N = 89 2.90 (1.29)	N = 88 3.64 (1.20)	N = 82 3.46 (1.24)	N = 89 3.78 (1.18)	N = 90 3.96 (1.18)	N = 87 3.47 (1.37)
ニュータウン	N = 223 2.66 (1.25)	N = 222 3.00 (1.27)	N = 223 3.11 (1.16)	N = 222 3.00 (1.21)	N = 223 3.17 (1.31)	N = 223 4.12 (0.97)	N = 223 3.55 (1.33)	N = 218 2.94 (1.38)	N = 223 3.64 (1.21)	N = 223 3.48 (1.19)
青山	N = 61 3.87 (1.18)	N = 62 1.87 (1.11)	N = 60 1.87 (1.16)	N = 62 3.02 (1.25)	N = 62 2.03 (1.32)	N = 62 2.69 (1.31)	N = 62 3.08 (1.37)	N = 61 4.70 (0.49)	N = 62 4.77 (0.46)	N = 62 4.46 (0.68)
金沢	N = 40 4.08 (0.82)	N = 40 2.25 (1.28)	N = 40 2.85 (1.19)	N = 40 3.38 (1.04)	N = 40 3.00 (1.14)	N = 40 3.80 (1.03)	N = 40 3.25 (1.04)	N = 40 3.25 (1.24)	N = 40 3.45 (1.22)	N = 40 3.65 (0.99)
全体	N = 408 3.25 (1.35)	N = 412 2.66 (1.33)	N = 410 2.82 (1.27)	N = 412 2.78 (1.32)	N = 414 2.93 (1.34)	N = 413 3.77 (1.19)	N = 407 3.43 (1.30)	N = 408 3.42 (1.38)	N = 415 3.86 (1.19)	N = 412 3.67 (1.22)

付表-21 団地居住者の以前の住宅に対する満足度

	1 家賃	2 広さ	3 間取り	4 隣の騒音	5 外の騒音	6 環境	7 眺望	8 通勤時間	9 買物	10 公共施設
奄美	N = 51 3.35 (1.44)	N = 56 2.66 (1.54)	N = 55 2.56 (1.52)	N = 54 3.20 (1.38)	N = 54 3.33 (1.33)	N = 55 3.49 (1.30)	N = 50 3.12 (1.30)	N = 54 3.65 (1.33)	N = 55 3.56 (1.41)	N = 53 3.19 (1.42)
ニュータウン	N = 213 3.48 (1.34)	N = 216 2.11 (1.43)	N = 217 2.15 (1.29)	N = 218 2.95 (1.32)	N = 218 3.17 (1.30)	N = 218 3.14 (1.42)	N = 218 2.60 (1.33)	N = 215 3.60 (1.39)	N = 218 3.52 (1.30)	N = 219 3.27 (1.25)
青山	N = 19 3.11 (1.49)	N = 20 2.60 (1.50)	N = 20 2.55 (1.57)	N = 20 3.30 (1.49)	N = 20 3.20 (1.64)	N = 20 3.75 (1.48)	N = 20 2.70 (1.42)	N = 20 3.70 (1.53)	N = 20 3.85 (1.31)	N = 20 3.60 (1.47)
金沢	N = 19 2.74 (1.52)	N = 20 2.85 (1.46)	N = 20 2.70 (1.27)	N = 20 3.10 (1.22)	N = 20 3.20 (1.25)	N = 20 3.10 (1.37)	N = 20 2.70 (1.14)	N = 20 3.35 (1.35)	N = 20 3.95 (1.20)	N = 20 3.15 (1.62)
全体	N = 302 3.39 (1.38)	N = 312 2.29 (1.47)	N = 312 2.28 (1.36)	N = 312 3.03 (1.34)	N = 312 3.21 (1.32)	N = 313 3.24 (1.41)	N = 308 2.70 (1.33)	N = 309 3.43 (1.61)	N = 313 3.58 (1.32)	N = 312 3.29 (1.29)

11 文化施設	12 駅からの 距離	13 日照	14 近所 づきあい	15 土地の イメージ	16 防犯	17 防災	18 プライ バシー	19 総合的 住み心地
N = 53 2.83 { 1.38 }	N = 39 3.41 { 1.39 }	N = 55 3.24 { 1.59 }	N = 55 3.87 { 1.06 }	N = 53 3.49 { 1.19 }	N = 55 3.24 { 1.28 }	N = 55 3.35 { 1.28 }	N = 54 3.31 { 1.13 }	N = 56 3.13 { 1.35 }
N = 218 2.75 { 1.32 }	N = 219 3.37 { 1.45 }	N = 218 3.59 { 1.47 }	N = 218 3.47 { 1.09 }	N = 216 3.55 { 1.14 }	N = 217 2.97 { 1.14 }	N = 215 2.73 { 1.17 }	N = 218 3.10 { 1.19 }	N = 218 2.97 { 1.20 }
N = 20 2.65 { 1.09 }	N = 20 3.65 { 1.18 }	N = 20 3.00 { 1.52 }	N = 20 3.40 { 0.88 }	N = 19 3.32 { 1.20 }	N = 19 2.84 { 1.26 }	N = 18 2.39 { 1.38 }	N = 20 3.35 { 1.42 }	N = 20 2.95 { 1.32 }
N = 20 2.55 { 1.02 }	N = 19 3.05 { 1.57 }	N = 19 2.79 { 1.44 }	N = 20 3.15 { 1.19 }	N = 20 3.10 { 0.77 }	N = 20 2.75 { 0.99 }	N = 20 3.85 { 1.01 }	N = 20 3.05 { 1.43 }	N = 20 2.70 { 1.05 }
N = 311 2.75 { 1.29 }	N = 297 3.38 { 1.44 }	N = 312 3.44 { 1.50 }	N = 313 3.51 { 1.09 }	N = 308 3.49 { 1.13 }	N = 311 3.00 { 1.16 }	N = 308 2.83 { 1.22 }	N = 312 3.15 { 1.21 }	N = 314 2.98 { 1.22 }

11 文化施設	12 駅からの 距離	13 日照	14 近所づ きあい	15 土地の イメージ	16 防犯	17 防災	18 プライ バシー	19 総合的 住み心地
N = 87 3.31 { 1.23 }	N = 56 3.70 { 1.29 }	N = 90 4.23 { 1.01 }	N = 89 3.85 { 1.03 }	N = 87 3.84 { 0.93 }	N = 88 3.60 { 1.21 }	N = 88 3.30 { 1.29 }	N = 87 3.63 { 1.11 }	N = 90 3.57 { 1.01 }
N = 222 3.44 { 1.14 }	N = 223 4.24 { 0.99 }	N = 223 4.38 { 1.00 }	N = 222 3.41 { 1.07 }	N = 221 3.74 { 0.99 }	N = 222 3.47 { 1.13 }	N = 221 2.97 { 1.13 }	N = 222 3.50 { 1.14 }	N = 223 3.75 { 0.88 }
N = 62 3.69 { 1.14 }	N = 62 4.61 { 0.55 }	N = 62 2.58 { 1.53 }	N = 62 3.47 { 0.97 }	N = 62 4.35 { 0.73 }	N = 60 3.58 { 1.03 }	N = 62 2.45 { 1.08 }	N = 60 3.68 { 1.23 }	N = 62 3.97 { 0.97 }
N = 40 3.60 { 0.99 }	N = 40 3.08 { 1.52 }	N = 40 3.73 { 1.18 }	N = 40 3.38 { 0.97 }	N = 40 2.95 { 1.14 }	N = 40 2.53 { 0.99 }	N = 40 2.58 { 0.89 }	N = 40 3.03 { 1.49 }	N = 40 3.40 { 0.97 }
N = 411 3.47 { 1.15 }	N = 381 3.99 { 1.28 }	N = 415 4.01 { 1.27 }	N = 413 3.51 { 1.05 }	N = 410 3.79 { 0.98 }	N = 410 3.47 { 1.12 }	N = 411 2.92 { 1.12 }	N = 409 3.52 { 1.16 }	N = 415 3.58 { 0.95 }

付表-22 一戸建居住者の現在の住宅に対する満足度

	1 家賃	2 広さ	3 間取り	4 隣の騒音	5 外の騒音	6 環境	7 眺望	8 通勤時間	9 買物	10 公共施設
奄美	N = 86 3.90 { 1.23 }	N = 105 3.51 { 1.35 }	N = 103 3.34 { 1.37 }	N = 106 3.93 { 1.31 }	N = 103 3.50 { 1.49 }	N = 105 3.87 { 1.37 }	N = 100 3.64 { 1.28 }	N = 102 4.27 { 1.09 }	N = 104 4.19 { 1.22 }	N = 103 3.88 { 1.29 }
ニュータウン	N = 64 3.22 { 1.16 }	N = 88 3.93 { 1.14 }	N = 90 3.63 { 1.18 }	N = 89 3.71 { 1.32 }	N = 88 3.13 { 1.36 }	N = 90 3.97 { 1.21 }	N = 87 3.14 { 1.28 }	N = 80 2.93 { 1.50 }	N = 87 2.64 { 1.37 }	N = 89 2.60 { 1.32 }
青山	N = 43 3.74 { 1.27 }	N = 64 3.95 { 1.27 }	N = 64 3.66 { 1.36 }	N = 64 3.27 { 1.22 }	N = 63 3.13 { 1.34 }	N = 63 3.19 { 1.35 }	N = 61 2.36 { 1.24 }	N = 62 4.61 { 0.80 }	N = 64 4.61 { 0.55 }	N = 63 4.11 { 1.00 }
金沢	N = 54 3.52 { 1.36 }	N = 58 3.66 { 1.51 }	N = 57 3.61 { 1.24 }	N = 58 4.43 { 0.87 }	N = 58 4.24 { 1.04 }	N = 58 4.64 { 0.66 }	N = 56 4.00 { 1.05 }	N = 57 3.07 { 1.40 }	N = 58 3.09 { 1.43 }	N = 58 3.59 { 1.25 }
全体	N = 247 3.66 { 1.20 }	N = 315 3.78 { 1.26 }	N = 314 3.54 { 1.29 }	N = 317 3.83 { 1.28 }	N = 312 3.46 { 1.40 }	N = 316 3.90 { 1.30 }	N = 304 3.02 { 1.90 }	N = 301 3.76 { 1.42 }	N = 313 3.64 { 1.44 }	N = 313 3.51 { 1.37 }

付表-23 一戸建居住者の以前の住宅に対する満足度

	1 家賃	2 広さ	3 間取り	4 隣の騒音	5 外の騒音	6 環境	7 眺望	8 通勤時間	9 買物	10 公共施設
奄美	N = 54 3.65 { 1.46 }	N = 59 2.83 { 1.50 }	N = 54 2.80 { 1.46 }	N = 57 3.32 { 1.49 }	N = 56 3.14 { 1.52 }	N = 56 3.61 { 1.44 }	N = 52 3.21 { 1.30 }	N = 55 3.76 { 1.36 }	N = 57 4.11 { 1.23 }	N = 59 3.69 { 1.29 }
ニュータウン	N = 65 3.51 { 1.29 }	N = 81 2.40 { 1.46 }	N = 82 2.44 { 1.40 }	N = 84 3.27 { 1.50 }	N = 83 3.36 { 1.48 }	N = 83 3.49 { 1.49 }	N = 79 3.23 { 1.47 }	N = 76 3.53 { 1.43 }	N = 81 3.21 { 1.45 }	N = 83 2.90 { 1.38 }
青山	N = 20 3.40 { 1.27 }	N = 28 3.18 { 1.72 }	N = 27 2.89 { 1.58 }	N = 28 3.46 { 1.43 }	N = 27 3.59 { 1.47 }	N = 26 3.73 { 1.43 }	N = 26 2.92 { 1.23 }	N = 27 4.48 { 0.94 }	N = 28 4.43 { 1.00 }	N = 27 4.04 { 0.98 }
金沢	N = 39 3.77 { 1.27 }	N = 41 2.29 { 1.31 }	N = 42 2.38 { 1.11 }	N = 42 3.45 { 1.33 }	N = 41 3.66 { 1.32 }	N = 42 3.79 { 1.24 }	N = 40 3.40 { 1.32 }	N = 42 3.88 { 1.24 }	N = 41 3.93 { 1.26 }	N = 41 3.66 { 1.32 }
全体	N = 178 3.60 { 1.33 }	N = 209 2.60 { 1.50 }	N = 205 2.58 { 1.39 }	N = 211 3.35 { 1.45 }	N = 207 3.23 { 1.44 }	N = 207 3.61 { 1.42 }	N = 197 3.22 { 1.36 }	N = 200 3.80 { 1.34 }	N = 207 3.76 { 1.37 }	N = 210 3.42 { 1.36 }

11 文化施設	12 駅から 距離	13 日照	14 近所づ きあい	15 土地の イメージ	16 防犯	17 防災	18 ブライ バシー	19 総合的 住み心地
N = 104 3.33 〔1.40〕	N = 67 3.61 〔1.30〕	N = 104 4.02 〔1.30〕	N = 103 4.34 〔0.86〕	N = 102 4.18 〔1.07〕	N = 106 3.64 〔1.17〕	N = 104 3.49 〔1.28〕	N = 105 3.95 〔1.24〕	N = 106 4.05 〔1.05〕
N = 88 2.51 〔1.32〕	N = 89 2.37 〔1.46〕	N = 90 4.26 〔1.20〕	N = 90 3.82 〔0.95〕	N = 90 3.52 〔1.06〕	N = 89 2.78 〔1.08〕	N = 88 3.43 〔1.12〕	N = 88 3.85 〔1.07〕	N = 90 3.90 〔0.90〕
N = 64 3.70 〔1.15〕	N = 64 4.73 〔0.51〕	N = 63 3.48 〔1.44〕	N = 63 3.48 〔1.06〕	N = 64 4.31 〔0.85〕	N = 64 3.36 〔1.10〕	N = 64 2.92 〔1.20〕	N = 63 3.67 〔1.28〕	N = 64 4.08 〔0.93〕
N = 58 3.91 〔1.06〕	N = 58 2.60 〔1.51〕	N = 58 4.64 〔0.76〕	N = 58 4.00 〔1.13〕	N = 58 3.76 〔1.04〕	N = 58 3.55 〔1.02〕	N = 57 3.91 〔0.88〕	N = 58 4.07 〔1.09〕	N = 58 4.10 〔0.69〕
N = 314 3.11 〔1.45〕	N = 278 3.26 〔1.58〕	N = 315 4.09 〔1.27〕	N = 314 3.69 〔1.32〕	N = 314 3.94 〔1.06〕	N = 317 3.32 〔1.16〕	N = 313 3.43 〔1.19〕	N = 314 3.77 〔1.30〕	N = 318 3.75 〔1.40〕

11 文化施設	12 駅から 距離	13 日照	14 近所づ きあい	15 土地の イメージ	16 防犯	17 防災	18 ブライ バシー	19 総合的 住み心地
N = 57 3.23 〔1.40〕	N = 43 3.28 〔1.32〕	N = 57 3.44 〔1.63〕	N = 56 4.16 〔1.08〕	N = 57 3.56 〔1.44〕	N = 58 3.48 〔1.31〕	N = 57 3.33 〔1.30〕	N = 58 3.38 〔1.40〕	N = 59 3.32 〔1.56〕
N = 83 2.65 〔1.21〕	N = 83 2.86 〔1.52〕	N = 84 3.79 〔1.50〕	N = 84 3.69 〔1.06〕	N = 84 3.46 〔1.09〕	N = 84 3.13 〔1.24〕	N = 83 2.88 〔1.15〕	N = 82 3.37 〔1.32〕	N = 84 3.21 〔1.21〕
N = 28 3.46 〔1.26〕	N = 28 4.21 〔1.23〕	N = 28 3.71 〔1.61〕	N = 27 3.93 〔0.92〕	N = 28 4.39 〔0.96〕	N = 28 3.64 〔1.19〕	N = 28 3.54 〔1.07〕	N = 28 4.18 〔0.77〕	N = 28 3.96 〔1.04〕
N = 42 3.29 〔1.33〕	N = 42 3.29 〔1.52〕	N = 42 3.40 〔1.57〕	N = 42 3.76 〔1.04〕	N = 42 3.67 〔1.13〕	N = 42 3.64 〔1.11〕	N = 42 3.22 〔1.16〕	N = 42 3.62 〔1.15〕	N = 42 3.31 〔1.03〕
N = 210 3.04 〔1.33〕	N = 196 3.10 〔1.55〕	N = 211 3.61 〔1.56〕	N = 209 3.86 〔1.06〕	N = 211 3.65 〔1.22〕	N = 212 3.16 〔1.38〕	N = 209 3.16 〔1.20〕	N = 210 3.39 〔1.48〕	N = 213 3.17 〔1.39〕

付表-24 転居希望

		1 今のまま	2土地は かわらず	3土地も 移りたい	4 無回答
奄 美	団 地 (N = 92)	61 66.3	16 17.4	12 13.0	3 3.3
	一 戸 建 (N = 106)	84 79.2	16 15.1	4 3.8	2 1.9
ニ ュ ー タ ウ ン	団 地 (N = 224)	103 46.0	58 25.9	52 23.2	11 4.9
	一 戸 建 (N = 92)	65 70.7	10 10.9	12 13.0	5 5.4
青 山	団 地 (N = 62)	22 35.5	30 48.4	8 12.9	2 3.2
	一 戸 建 (N = 66)	53 80.3	6 9.1	5 7.6	2 3.0
金 沢	団 地 (N = 40)	11 27.5	17 42.5	12 30.0	0 0
	一 戸 建 (N = 58)	42 72.4	10 17.2	6 10.3	0 0

付表-25 やがて一戸建を建てたいか

	ぜ ひ	どちらか といえは	建てたくない	無 回 答
奄 美 (N = 92)	46 50.0	30 32.6	11 12.0	5 5.4
ニ ュ ー タ ウ ン (N = 224)	58 25.9	76 33.9	80 35.7	10 4.5
青 山 (N = 62)	15 24.2	22 35.5	23 37.1	2 3.2
金 沢 (N = 40)	17 42.5	18 45.0	5 12.5	0 0

付表-26 都市住宅のあるべき姿

		1 集合住宅 にすべき	2 都会に 一戸建	3 郊外に 一戸建	無回答
奄 美	団 地 (N = 92)	28 30.4	39 42.4	20 21.7	5 5.4
	一 戸 建 (N = 106)	12 11.3	50 47.2	33 31.1	11 10.4
ニュータウン	団 地 (N = 224)	100 44.6	42 18.8	65 29.0	17 7.6
	一 戸 建 (N = 92)	15 16.3	21 22.8	43 46.7	13 14.1
青 山	団 地 (N = 62)	36 58.1	9 14.5	10 16.1	7 11.3
	一 戸 建 (N = 66)	20 30.3	20 30.3	17 25.8	9 13.6
金 沢	団 地 (N = 40)	8 20.0	15 37.5	17 42.5	0 0
	一 戸 建 (N = 58)	12 20.7	17 29.3	26 44.8	3 5.2

付表-27 団地居住者の住いに対する不満

	1 階段の 使 用		2 ベランダ の 狭 さ		3 建 物 の 陥 欠		4 庭がない		5 ペット が だ め		6 圧 迫 感		7 そ の 他	
	イエ	ハイ	イエ	ハイ	イエ	ハイ	イエ	ハイ	イエ	ハイ	イエ	ハイ	イエ	ハイ
奄 美 (N = 92)	85 92.4	7 7.6	59 64.1	33 35.9	82 89.1	10 10.9	36 39.1	56 60.9	66 71.7	26 28.3	84 91.3	8 8.7	84 91.3	8 8.7
ニュータウン (N = 224)	188 83.9	36 16.1	173 77.2	51 22.8	179 79.9	45 20.1	116 51.8	108 48.2	180 80.4	44 19.6	195 87.1	29 12.9	194 86.6	30 13.4
青 山 (N = 62)	58 93.5	4 6.5	30 48.4	32 51.6	48 77.4	14 22.6	34 54.8	28 45.2	41 66.1	21 33.9	51 82.3	11 17.7	51 82.3	11 17.7
金 沢 (N = 40)	36 90.0	4 10.0	16 40.0	24 60.0	26 65.0	14 35.0	26 65.0	14 35.0	37 92.5	3 7.5	36 90.0	4 10.0	36 90.0	4 10.0

付表-28 団地住民の「団地」, 「一戸建」に対するイメージ (5段階評定の平均値)

		1 好 き	2 き れ い	3 ご み ご み し た	4 便 利 な	5 温 い	6 安 全 な	7 個 性 的	8 味 気 な い
団 地 の イ メ ー ジ	奄 美	N = 82 3.20 〔1.01〕	N = 79 3.25 〔1.06〕	N = 72 3.39 〔0.91〕	N = 75 3.43 〔1.01〕	N = 79 3.18 〔1.15〕	N = 79 3.16 〔1.07〕	N = 75 2.68 〔1.05〕	N = 77 3.31 〔1.05〕
	ニュータウン	N = 217 3.16 〔0.90〕	N = 215 3.60 〔0.85〕	N = 213 2.85 〔0.96〕	N = 217 3.86 〔0.94〕	N = 218 3.16 〔1.04〕	N = 217 3.50 〔0.99〕	N = 218 2.20 〔0.95〕	N = 218 3.33 〔1.03〕
	青 山	N = 59 3.02 〔0.86〕	N = 60 2.85 〔0.84〕	N = 59 3.49 〔0.88〕	N = 60 3.88 〔0.98〕	N = 61 3.38 〔0.97〕	N = 60 3.23 〔1.05〕	N = 60 2.32 〔1.13〕	N = 60 3.32 〔1.03〕
	金 沢	N = 40 2.75 〔0.79〕	N = 40 2.90 〔0.88〕	N = 39 3.56 〔0.87〕	N = 40 3.43 〔0.83〕	N = 40 2.95 〔0.92〕	N = 39 2.95 〔0.98〕	N = 40 2.38 〔0.97〕	N = 40 3.60 〔0.94〕
	全 体	N = 398 3.11 〔0.92〕	N = 394 3.34 〔0.94〕	N = 383 3.13 〔0.97〕	N = 392 3.74 〔0.99〕	N = 398 3.17 〔1.04〕	N = 395 3.34 〔1.03〕	N = 393 2.33 〔1.01〕	N = 395 3.35 〔1.02〕
一 戸 建 の イ メ ー ジ	奄 美	N = 61 4.69 〔0.67〕	N = 57 4.42 〔0.68〕	N = 56 1.82 〔0.86〕	N = 58 3.71 〔1.17〕	N = 58 3.62 〔1.06〕	N = 57 3.60 〔1.16〕	N = 58 4.07 〔0.95〕	N = 57 2.04 〔1.12〕
	ニュータウン	N = 215 3.93 〔0.87〕	N = 214 3.56 〔0.78〕	N = 211 2.71 〔1.09〕	N = 214 2.77 〔1.03〕	N = 214 3.37 〔0.98〕	N = 213 2.61 〔0.90〕	N = 214 3.72 〔0.96〕	N = 214 2.07 〔0.83〕
	青 山	N = 55 4.09 〔0.80〕	N = 54 4.91 〔0.73〕	N = 54 2.39 〔0.92〕	N = 55 2.78 〔1.07〕	N = 55 3.40 〔0.95〕	N = 55 2.95 〔0.95〕	N = 56 3.82 〔0.83〕	N = 55 2.22 〔0.83〕
	金 沢	N = 38 4.42 〔0.74〕	N = 37 4.00 〔0.77〕	N = 38 2.16 〔1.03〕	N = 38 3.79 〔1.10〕	N = 38 3.63 〔0.87〕	N = 38 3.58 〔0.99〕	N = 38 4.05 〔0.88〕	N = 38 2.05 〔1.09〕
	全 体	N = 369 4.13 〔0.86〕	N = 362 3.79 〔0.82〕	N = 359 2.47 〔1.08〕	N = 365 3.02 〔1.14〕	N = 365 3.44 〔0.98〕	N = 363 2.92 〔1.04〕	N = 366 3.83 〔0.94〕	N = 364 2.09 〔0.91〕

付表-29 一戸建住民の「団地」,「一戸建」に対するイメージ

		1 好 き	2 きれい	3 ごみご みした	4 便利 な	5 温 い	6 安全 な	7 個 性 的	8 味気ない
団 地 の イ メ ー ジ	奄 美	N = 78 2.45 { 1.10 }	N = 81 3.20 { 1.04 }	N = 76 3.49 { 1.19 }	N = 83 3.13 { 1.13 }	N = 77 2.86 { 1.18 }	N = 79 2.68 { 1.16 }	N = 77 2.42 { 1.14 }	N = 77 3.53 { 1.10 }
	ニュータウン	N = 76 2.18 { 1.00 }	N = 70 3.04 { 0.94 }	N = 71 3.46 { 1.13 }	N = 70 3.63 { 1.02 }	N = 72 2.54 { 1.03 }	N = 72 2.97 { 1.15 }	N = 71 2.11 { 1.15 }	N = 72 3.86 { 1.03 }
	青 山	N = 59 2.07 { 1.13 }	N = 55 2.80 { 0.87 }	N = 56 3.63 { 0.93 }	N = 56 3.50 { 1.10 }	N = 57 2.67 { 1.02 }	N = 58 2.45 { 1.06 }	N = 58 1.67 { 0.82 }	N = 59 4.07 { 0.96 }
	金 沢	N = 56 2.48 { 0.94 }	N = 55 2.85 { 0.84 }	N = 56 3.27 { 1.04 }	N = 56 3.23 { 0.99 }	N = 55 2.80 { 0.97 }	N = 55 2.87 { 1.06 }	N = 56 2.18 { 1.03 }	N = 56 3.55 { 1.08 }
	全 体	N = 269 2.30 { 1.06 }	N = 261 3.00 { 0.95 }	N = 259 3.46 { 1.09 }	N = 265 3.36 { 1.08 }	N = 261 2.72 { 1.07 }	N = 264 2.75 { 1.13 }	N = 262 2.12 { 1.09 }	N = 264 3.75 { 1.06 }
一 戸 建 の イ メ ー ジ	奄 美	N = 99 4.77 { 0.51 }	N = 97 4.22 { 0.90 }	N = 95 2.16 { 1.22 }	N = 99 4.15 { 0.99 }	N = 97 4.09 { 0.85 }	N = 96 4.07 { 0.97 }	N = 98 4.21 { 0.79 }	N = 96 2.05 { 1.08 }
	ニュータウン	N = 90 4.73 { 0.56 }	N = 85 4.16 { 0.80 }	N = 84 2.05 { 1.02 }	N = 84 3.38 { 1.19 }	N = 84 3.86 { 0.92 }	N = 86 3.79 { 0.98 }	N = 84 4.06 { 0.83 }	N = 84 1.85 { 0.77 }
	青 山	N = 65 4.58 { 0.66 }	N = 64 4.03 { 0.84 }	N = 62 2.26 { 0.92 }	N = 61 3.57 { 1.12 }	N = 64 3.84 { 0.86 }	N = 63 3.54 { 1.01 }	N = 65 4.26 { 0.80 }	N = 65 1.78 { 0.89 }
	金 沢	N = 57 4.59 { 0.72 }	N = 57 4.14 { 0.84 }	N = 57 1.79 { 0.83 }	N = 56 3.59 { 1.08 }	N = 57 3.67 { 0.94 }	N = 56 3.57 { 0.96 }	N = 57 4.18 { 0.81 }	N = 57 1.67 { 0.77 }
	全 体	N = 311 4.69 { 0.60 }	N = 303 4.15 { 0.85 }	N = 298 2.08 { 1.04 }	N = 300 3.71 { 1.13 }	N = 302 3.60 { 1.24 }	N = 301 3.57 { 1.23 }	N = 304 4.17 { 0.81 }	N = 302 1.86 { 0.91 }

付表-30 近隣社会における活動

		自治会加入			自治会活動				団地、町内会の行事				住民運動				サークル活動		
		入っている	いない	無回答	関あ	心り	あまりない	無回答	参加	時々	しない	無回答	関あ	心り	なし	無回答	参加	していない	無回答
奄美	団地 (N=92)	58 63.0	26 28.3	8 8.7	53 57.6	31 33.7	8 8.7	49 53.3	33 35.9	4 4.3	6 6.5	54 58.7	31 33.7	7 7.6	28 30.4	56 60.9	8 8.7		
	一戸建 (N=106)	74 69.8	26 24.5	6 5.7	51 58.1	46 43.4	9 8.5	54 50.9	32 30.2	14 13.2	6 5.7	62 58.5	35 33.0	9 8.5	26 24.5	70 66.0	10 9.4		
ニュータウン	団地 (N=224)	143 63.8	72 32.1	9 4.0	74 33.0	136 60.7	14 6.3	32 14.3	143 63.8	40 17.9	9 4.0	97 43.3	118 52.7	9 4.0	50 22.3	165 73.7	9 4.0		
	一戸建 (N=92)	78 84.8	11 12.0	3 3.3	33 35.9	53 57.6	6 6.5	32 34.8	41 44.6	14 15.2	5 5.4	39 42.4	45 48.9	8 8.7	15 16.3	66 71.7	11 12.0		
青山	団地 (N=62)	42 67.7	18 29.0	2 3.2	23 37.1	37 59.7	2 3.2	8 12.9	36 58.1	15 24.2	3 4.8	25 40.3	35 56.5	2 3.2	4 6.5	55 88.7	3 4.8		
	一戸建 (N=66)	58 87.9	8 12.1	0 0.0	18 27.3	46 69.7	2 3.0	1 1.5	33 50.0	31 47.0	1 1.5	29 43.9	34 51.5	3 4.5	2 3.0	62 93.9	2 3.0		
金沢	団地 (N=40)	25 62.5	14 35.0	1 2.5	12 30.0	27 67.5	1 2.5	14 35.0	20 50.0	4 10.0	2 5.0	16 40.0	22 55.0	2 5.0	10 25.0	27 67.5	3 7.5		
	一戸建 (N=58)	54 93.1	3 5.2	1 1.7	27 46.5	29 50.0	2 3.4	21 36.3	34 58.6	2 3.4	1 1.7	20 34.5	36 62.0	2 3.4	15 25.9	41 70.7	2 3.4		

付表-31 生活全般の満足度

		1 非常に満足	2 かなり満足	3 どちらとも いえない	4 少し不満	5 非常に不満	平均
奄美	団地 (N=90)	8 8.9	34 37.8	28 31.1	15 16.7	5 5.6	2.72 〔1.03〕
	一戸建 (N=105)	15 14.3	45 42.9	21 20.0	22 21.0	2 1.9	2.53 〔1.04〕
ニュータウン	団地 (N=222)	3 1.4	91 41.0	56 25.2	68 30.6	4 1.8	2.91 〔0.92〕
	一戸建 (N=92)	8 8.7	44 47.8	18 19.6	21 22.8	1 1.1	2.60 〔0.97〕
青山	団地 (N=62)	0 0.0	26 41.9	15 24.2	15 24.2	6 9.7	3.02 〔1.03〕
	一戸建 (N=66)	6 9.1	46 69.7	8 12.1	5 7.6	1 1.5	2.23 〔0.78〕
金沢	団地 (N=40)	1 2.5	9 22.5	9 22.5	19 47.5	2 5.0	3.68 〔2.48〕
	一戸建 (N=58)	1 1.7	40 69.0	7 12.1	10 17.2	0 0.0	3.10 〔4.95〕

付表-32 近所づきあいの規範

		1 当然する	2 便利のため	3 しないほうがよい	無回答	平均
奄 美	団 地 (N = 92)	57 62.0	26 28.3	1 1.1	8 8.7	1.33 〔0.50〕
	一 戸 建 (N = 106)	75 70.8	22 20.8	3 2.8	6 5.7	1.28 〔0.51〕
ニュータウン	団 地 (N = 224)	131 58.5	72 32.1	15 6.7	6 2.7	1.47 〔0.62〕
	一 戸 建 (N = 92)	58 63.0	22 23.9	8 8.7	4 4.3	1.43 〔0.66〕
青 山	団 地 (N = 62)	33 53.2	20 32.3	7 11.3	2 3.2	1.57 〔0.70〕
	一 戸 建 (N = 66)	42 63.6	16 24.2	5 7.6	3 4.5	1.41 〔0.64〕
金 沢	団 地 (N = 40)	19 47.5	14 35.0	4 10.0	3 7.5	1.59 〔0.69〕
	一 戸 建 (N = 58)	38 65.5	17 29.3	3 5.2	0 0.0	1.40 〔0.59〕

〔 〕はSD

付表-33 規範意識（人とは知り合いになるべきか）

		1 非常に反対	2 かなり反対	3 やや反対	4 どちらでもない	5 やや賛成	6 かなり賛成	7 非常に賛成	平均
奄 美	団 地 (N = 90)			4 4.4	23 25.6	37 41.1	10 11.1	16 17.8	5.12 〔1.12〕
	一 戸 建 (N = 106)			6 5.7	27 25.5	42 39.6	15 14.2	16 15.1	5.08 〔1.11〕
ニュータウン	団 地 (N = 220)	2 0.9	4 1.8	21 9.5	107 48.6	57 25.9	19 8.6	10 4.5	4.41 〔1.05〕
	一 戸 建 (N = 89)		2 2.2	10 11.2	51 57.3	16 18.0	5 5.6	5 5.6	4.30 〔1.02〕
青 山	団 地 (N = 60)	1 1.7	5 8.3	10 16.7	22 36.7	14 23.3	7 11.7	1 1.7	4.13 〔1.23〕
	一 戸 建 (N = 64)	2 3.1	2 3.1	3 4.7	32 50.0	21 32.8	3 4.7	1 1.6	4.27 〔1.03〕
金 沢	団 地 (N = 38)			7 18.4	10 26.3	7 18.4	9 23.7	5 13.2	4.87 〔1.34〕
	一 戸 建 (N = 57)		2 3.5	6 10.5	17 29.8	23 40.4	9 15.8		4.54 〔1.00〕

〔 〕はSD

付表-34 規範意識（苦しんでいる人は助けるべきか）

		1 非常に 反 対	2 かなり 反 対	3 やや反 対	4 どちら でも ない	5 やや賛 成	6 かなり 賛 成	7 非常に 賛 成	平 均
奄 美	団 地 (N = 89)	1 1.1	2 2.2		9 10.1	26 29.2	29 32.6	22 24.7	5.61 〔1.20〕
	一 戸 建 (N = 105)	1 1.0	1 1.0		13 12.4	30 28.6	28 26.7	32 30.5	5.69 〔1.18〕
ニュータウン	団 地 (N = 222)			2 0.9	42 18.9	83 37.4	62 27.9	33 14.9	5.37 〔0.98〕
	一 戸 建 (N = 90)			1 1.1	15 16.7	30 33.3	26 28.9	18 20.0	5.50 〔1.03〕
青 山	団 地 (N = 60)			2 3.3	6 10.0	27 45.0	17 28.3	8 13.3	5.41 〔0.97〕
	一 戸 建 (N = 63)			1 1.6	9 14.3	25 39.7	16 25.4	12 19.0	5.46 〔1.01〕
金 沢	団 地 (N = 39)			1 2.6	10 25.6	15 38.5	8 20.5	5 12.8	5.15 〔1.04〕
	一 戸 建 (N = 57)				17 29.8	23 40.4	13 22.8	4 7.0	5.07 〔0.90〕

〔 〕はSD

付表-35 夜道の援助

		1 声をかける	2 人を呼ぶ	3 様子を見る	4 何もしない	無 回 答	平 均
奄 美	団 地 (N = 92)	18 19.6	37 40.2	30 32.6	4 4.3	3 3.3	2.22 〔0.82〕
	一 戸 建 (N = 106)	21 19.8	38 35.8	36 34.0	11 10.4	0 0.0	2.35 〔0.92〕
ニュータウン	団 地 (N = 224)	33 14.7	50 22.3	97 43.3	41 18.3	3 1.3	2.66 〔0.95〕
	一 戸 建 (N = 92)	13 14.1	29 31.5	34 37.0	14 15.2	2 2.2	2.54 〔0.93〕
青 山	団 地 (N = 62)	6 9.7	23 37.1	19 30.6	12 19.4	2 3.2	2.62 〔0.92〕
	一 戸 建 (N = 66)	8 12.1	30 45.5	24 36.4	3 4.5	1 1.5	2.34 〔0.76〕
金 沢	団 地 (N = 40)	6 15.0	13 32.5	11 27.5	9 22.5	1 2.5	2.59 〔1.02〕
	一 戸 建 (N = 58)	13 22.4	16 27.6	23 39.7	6 10.3	0 0.0	2.38 〔0.95〕

〔 〕はSD

A STUDY ON SOCIAL ATTITUDES OF
APARTMENT HOUSE RESIDENTS
— An Analysis of the Results of Kanazawa Survey —

Noriaki Kato

Center for Urban Studies, Tokyo Metropolitan University

Comprehensive Urban Studies, No. 18, 1983, pp. 3 — 33

Social attitudes of apartment house residents and detached house residents of Kanazawa were studied.

Previously a study was made of apartment house living conditions and social attitudes of the residents in several districts (Tama New Town, Aoyama, Naze City). The aim of this study is to make a comparison of the results of these two surveys.

Many similarities and differences were found to exist between social attitudes of residents of Kanazawa and residents of another districts.

Even when there were many similar features between the public housing compound of Kanazawa and of another district, many differences in social attitudes were found.